



栗津 泰藏 議員

防災対策

避難計画は見直しをされているのか

原子力災害住民避難計画の見直しを行い、承認を得ました。

答

問 マキノ東小学校で開催の高島市総合防災訓練に、今回から広域避難所が変更されたマキノ北部地域を除外したのはなぜか。

答 政策部長 訓練時間や会場の広さなどから参加者の限界があり、今回4地区を対象に致しました。今後は、出来るだけ対象エリアの方が参加できるように配慮してまいります。



問 今回は福祉避難所の設置訓練はなかったが、今後の計画は。

答 防災監

福祉避難所関連団体等と協議しながら、今後訓練を実施していきたいと考えています。

問 原子力災害における避難計画について、県や市との連携や対策は。

答 政策部長

市の避難計画は従来から滋賀県の広域避難計画に基づいており県との連携を図っています。他府県では自家用車での避難を実施さ

問 避難計画の見直しをされているのか。

答 政策部長

原子力災害住民避難計画は、熊本地震を教訓に大規模災害を想定した見直しを行い、本年8月開催の市防災会議で承認を得ました。

問 避難計画の改正で、パブコメでもPPAとSPEEDI（放射能の拡散予測を示す）のデータ公表を削除したことで懸念が出されているが。

答 防災監

PPAは具体的な範囲が示されず、またSPEEDIは拡散予測が実測と乖離があると原子力規制委員会が判断したことから、記述を削除したものです。計画では、緊急時のモニタリングの実測値に基づいて防護措置をとることとしており、滋賀県版UPZ43キロ圏内・圏外でもしっかりと



と対応できるような計画となっております。

用語解説

● PPA :

放射性プルームが通過するときに放射性ヨウ素の吸い込みにより甲状腺被ばくによる影響を避けるための防護措置を実施する地域。

その他の質問

● 高島市に「地方創生」を活かしているか